○　教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

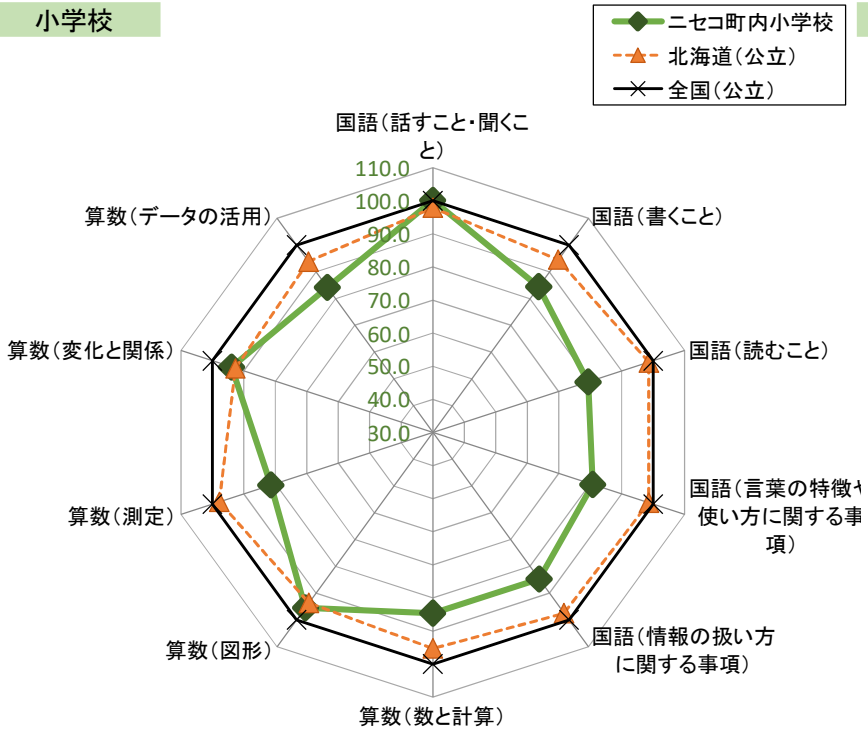
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

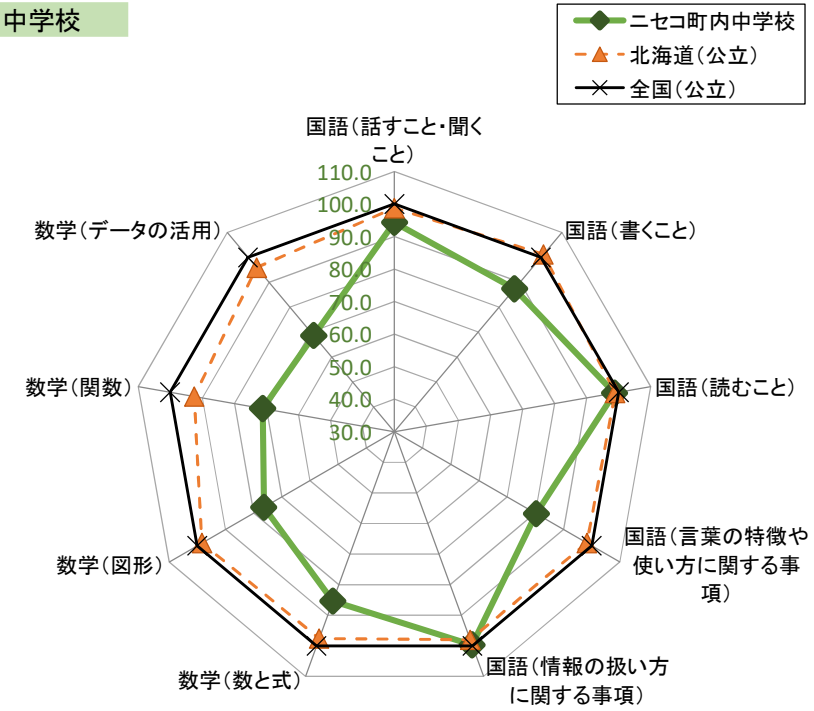
※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
ニセコ町	53	50	57	44	502
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



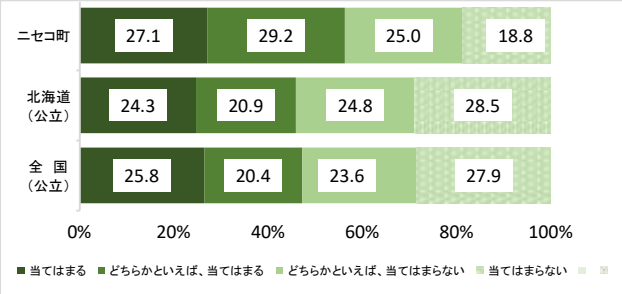
中学校



○ 質問調査の状況

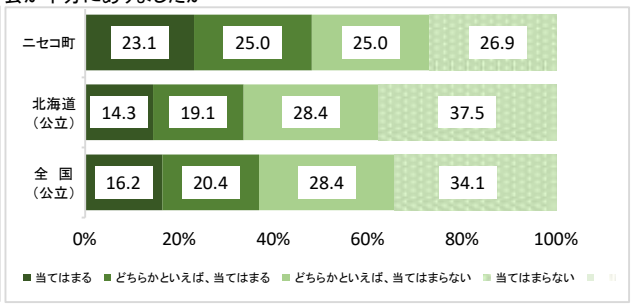
小学校
＜児童質問＞

これまで、学校の授業以外で英語を使う機会がありましたか



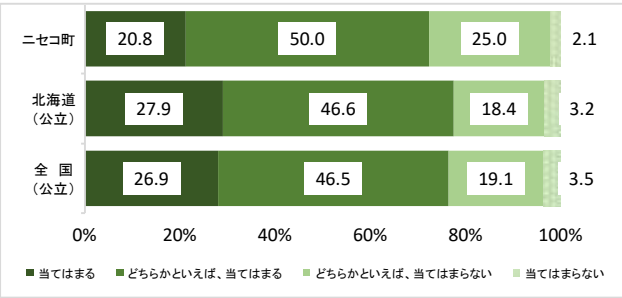
中学校
＜生徒質問＞

これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか



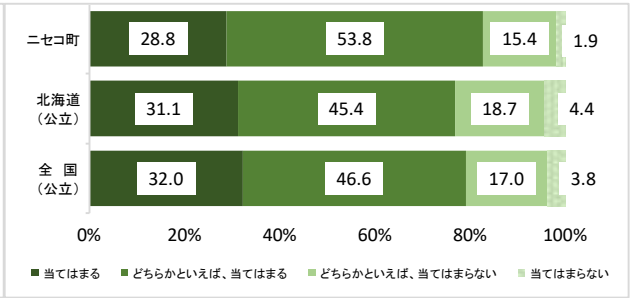
小学校
＜児童質問＞

これまで、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



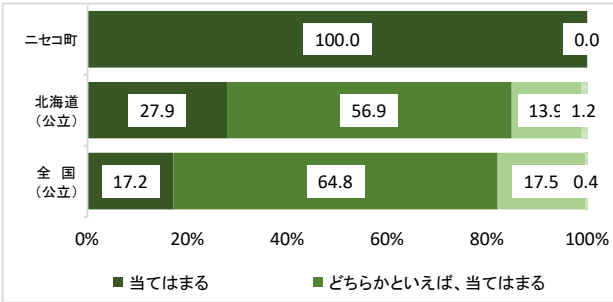
中学校
＜生徒質問＞

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



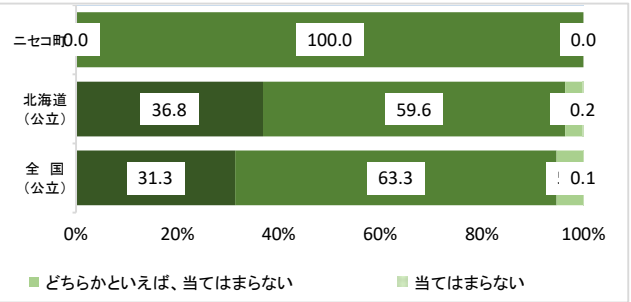
小学校
＜学校質問＞

児童に対して、これまで、将来に就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか



中学校
＜学校質問＞

学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他社と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



○ 調査結果の分析

・小学校において、授業で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ってきたことにより、小学校国語（話すこと・聞くこと）が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会があることで、英語の平均IRTスコアが全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校において、将来に就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行ってきたことにより、国語、算数の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他社と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫する学習指導をしてきたことにより、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

○ 今後の改善方策

・幼・小・中・高の連携強化や学習規律の統一など「ニセコスタイルの教育」の推進

・ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開

・外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成